

「道」という事

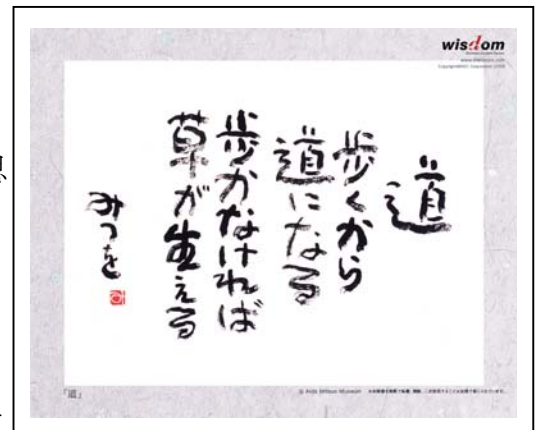
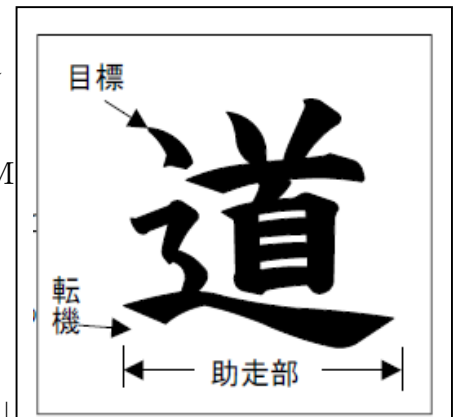
1. 「道」という事

右掲は152号でご紹介しているものです。平成6年頃、あるレストランで昼食をとっていた時に、偶然、合席になった自民党関連という方から教わったものを書いてあります。右下は、テレビCMで、偶然、知ったリースキンのコマーシャルにあった相田みつをさんの「道」という題の遊書です。

(参照: <http://www.web-ami.com/siryu/152.pdf>)

上の方は、目標に向かって長い道を「首」をかけて歩み続ける事が「道」という漢字が教える意味であり、相田みつをさんの「道」は、歩き続けることを示唆しています。どちらも深い意味がこもっているのですが、例えば、私のように還暦を超えて、人生を振り返って見ると何本の道が見えるかという事が重要になります。もちろん、一本に遊長っている方が良いと思います。

長い人生では、まっすぐ一本の平坦な道という訳には、行かないものです。誰にでも、必ず「浮き沈み」があるのですが、その「山」や「谷」の時に、どのように過ごしたかと言う事が重要になります。相田みつをさんの「道」は、具体的には言及していませんが、「歩かなければ草が生える」という事で「やり続ける」ことの重要性を示唆しているのです。



2. ある方からのエール

私は、昨年から「おまけの人生」と言っていますが、アラ還世代の読者の方から次のようなエールを頂きました。それは、

「栩野さん、まいど。う～ん、日本の景気は成熟期を越えて次が見つからない状況に思われま
す。これまでは、成長期だったので、独立するにも結果オーライ的な部分が多かったというか失敗
の事例は少なかった。成熟期を過ぎてくるとチャンスはそれほど転がっていない。チャンスは努力
しないと見つからないし、競争は激しい。それなりに基盤を気づかれ、メール配信の努力をされて
いる栩野さんは立派です。頭と体が資本に成ると思います、これからもがんばってください。… 以
下省略」

というものです。

私が、毎週、送っている「AMIニュース」というメルマガの感想の中にあつたのです。彼は、来年、
リタイアしようと考えているようですが、システム会社のSE畑の方なので「何か」を求めておられるよ
うです。彼は、自分のサラリーマン人生の棚卸をされているようで、立派な実績を誇っておられるの
ですが、個人となった時を想定して、私にエールを送って頂いたようです。これを励みにして、これ
からも頑張っていきたいと思います。

【AMIニュースのバックログは <http://www.web-ami.com/siryu.html> でご覧になれます！】